

2020  
June

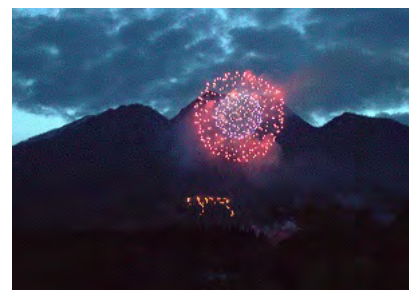
Vol.12

# 6ガバナー十一月信



## 目次

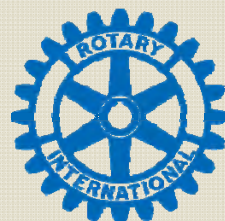
ガバナーメッセージ	1	新会員紹介／訃報	12
第一分区分同事業について	2	4月末会員数及びMy Rotary登録率	13
新発田・新発田城南・新発田中央RC活動報告	6	予定表 6月	14
系魚川RC活動報告	8	ロータリーコーディネーターNEWS	15
フェイスシールド・マスク贈呈式報告	10	ハイライトよねやま	18



国際ロータリー第2560地区 2019-20年度ガバナー事務所

〒943-0834 上越市西城町2-3-9  
TEL : 925-512-1435 FAX : 025-512-5854  
E-MAIL m.otani@rid2560niigata.jp

Rotary





## ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2560地区  
2019-20年度 ガバナー  
大谷光夫（高田RC）

国際ロータリー第2560地区ロータリアンの皆さまこんにちわ。

COVID-19禍の為に活動休止のクラブが多かったと思いますが緊急事態宣言解除によって活動を再開されたクラブも多いと存じます。ただ今迄どおりとはいわずに感染防止対策を講じたうえで時間を短縮したり、間をあけたりと皆さん大変な思いをされていることと思います。

ロータリアンの中にも大きなダメージを受けて正直ロータリーどころではない、という方も少なからずおられることと思います。こういう状況の時にこそ普段からいかに魅力あるクラブ作りをしているか、ロータリーの存在意義が問われてくるのかも知れません。

『ロータリーの絆』ということをしみじみと感じる此頃です。

それにしても今回のことで新しくカタカナ語を幾つ覚えたことでしょうか。曰くパンデミック、ロックダウン、オーバーシュート、クラスター、テレワーク、オンライン、リモート…等々まだ他にもあると思いますが日本語に置き換えにくい語もあるでしょうし、話が世界的に渉ることなのでカタカナ語の方が合っているようですね。

さてこのCOVID-19禍いったいいつ迄続くのでしょうか。

経済はどうなってしまうのか？第2第3波はくるのか？来年予定のオリンピックは？

誰一人としてはっきりと答えられる人などいません。専門家といわれる人達だって無理です。元々先のことなどわからないのにもっと複雑になっているこの先のことなどわからないに決まっています

結局のところワクチンを含む特效薬ができないかぎりには本当の意味の終息にならないというのが妥当なところでしょう。

ただ我慢するにしてもいつという見通しが立たないのが厳しくつらいところです。

とにかく一刻も早く事態が好転することを心から切に願うばかりです。

最後になりましたが私のガバナー任期も今月で終わりとなりました。年度前半は地区大会はじめほぼスケジュールどおりに終えることができましたが、後半はほとんど活動らしいことが出来ませんでした。皆さまへのご挨拶も含め来月の月信で詳しく書かせて頂きます。お元気で。



## 第一分区合同事業について ～地域の人々とともにロータリークラブ～

2019－20年度  
第一分区ガバナー補佐  
小野寺眞夫（新発田RC）

「地域の人々とともにロータリークラブ」のタイトルコールのもと3月4日、第一分区9クラブの会長及び幹事が出演するラジオ番組が始まった。「みなさん！国際ロータリークラブをご存じでしょうか？ロータリークラブとは世界を変える行動人が集まり、地元や世界に持続可能な変化を生むために、手を取り合って行動する人をロータリアンと言います。阿賀北地域には9つのロータリークラブがあり、このコーナーでは、各クラブがどんな活動をしているかを紹介します。」放送冒頭この様な紹介があり、放送が開始された。

### 1、放送内容

放送局はFMしばたとし、FMしばたの企画のもと

イ、番組名は「地域の人々とともにロータリークラブ」としました。

ロ、放送時間は「本放送」ごきげんラジオ769内 毎週水曜日16時30分から

16時45分。「再放送」ひるどきしばた769内

毎週火曜日11時35分から11時50分

ハ、放送日は

### 第1回 3月4日 新発田クラブ

(左側) 岩村幹事 (中央) 加藤アナウンサー  
(右側) 島田会長



### 第2回 3月11日 村上クラブ

(左側) 大滝会長 (右側) 横井幹事



第3回 3月18日 水原クラブ

(左側) 小林会長 (右側) 若月幹事



第4回 3月24日 中条クラブ

(左側) 西奈美会長 (右側) 小野幹事



第5回 4月1日 新発田城南クラブ

(左側) 長谷川会長 (右側) 渡辺幹事



第6回 4月8日 豊栄クラブ

(左側) 曾我会長 (右側) 高橋幹事



第7回 4月15日 新発田中央クラブ

(左側) 有田会長 (中央) 加藤アナウンサー  
(右側) 佐藤幹事



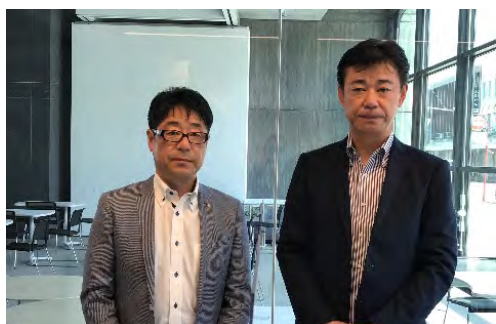
第8回 4月22日 中条胎内クラブ

布川会長

近 幹事



第9回 5月27日 村上岩船クラブ



## 二、番組内容

加藤恵里花アナウンサー司会のもと、各クラブの会長及び幹事さんに質問をする形式で下記の通り進められた。

- ①タイトルコール、オープニングトーク
- ②ゲスト紹介（会長の現在の職業及びロータリークラブでの会長の仕事。  
幹事の現在の職業及びロータリークラブでの幹事の仕事）
- ③各クラブの紹介
- ④活動内容（これまでの活動について）
- ⑤今後の事業紹介（今後の活動について）
- ⑥各ロータリークラブの目指すところ（将来の希望や目標）

そして最後の締めの言葉は

ありがとうございました。「地域の人々とともにロータリークラブ」今日は国際ロータリー第2560地区第一分区〇〇ロータリークラブをご紹介します。

ロータリークラブとは、情熱と責任感のあるロータリー会員が集まり、それぞれの経験やスキルを生かして、根強い問題にも粘り強く取り組んでいます。長期的に考え、持続可能な影響を残す事を目標としています。それがロータリアンです。皆さんもその活動にご注目下さい。このコーナーは国際ロータリー第2560地区第一分区の提供でお送りしました。

で終了です。

## 2、第一分区合同事業実施の経緯

大谷年度の地区運営方針が6つ示されていますがその1つに公共イメージ向上と会員基盤の強化のための戦略計画推進その次にガバナー補佐によるグループ（分区）内クラブとの連携強化推進が有りました。

私がガバナー補佐をお受けした当初、それをどういった方法で実施しようか悩みました。次年度、第一分区から佐藤真ガバナーを輩出する事も有り、第一分区全体で盛り上げる意味合いで、分区全体で行う事業が出来ないか考えました。

最初、各地域単位で広報誌を作成し新聞折り込みで配布し、公共イメージアップを図ろうと思ったが、労力と資金がべらぼうに掛かるので断念。

結局、第一分区9クラブの会長及び幹事さんに、ラジオ番組に出演して頂きご自分のクラブの今までの活動や、今後の活動予定、将来の希望や目標などを語ってもらい、ロータリークラブを大いにアピールして貰う事とし、会長幹事会で審議し全員の賛成が得られ、実施したものです。

### 3, 最後に

私は全ての放送を聞きましたが、全ての会長、幹事さんは、質問にハキハキと的確に答えられていて、ご自分のクラブの特徴やこれまでの事業の成果、今後の活動や目標などがよく分かりました。大したものです。

この放送を聞いたら、誰でもロータリークラブは素晴らしい、入会したいと思えるのではないのでしょうか。

今回の事業、第一分区を一つの船と見なし、まず9クラブ協力して何か事業を実行する。そこに意義を見いだすと言う事に力点を置きました。決して何人の人に聞いてもらえたかを問うものではありません。

この、第一分区合同事業に協力して頂いた9クラブの会長及び幹事さんに深く感謝申し上げますとともに、間近に迫りました佐藤真ガバナー年度が、9クラブのご協力の下成功する事を祈念しております。



## 新発田RC・新発田城南RC・新発田中央RC 活動報告

2019－20年度  
新発田ロータリークラブ  
会長 島田茂

新発田ロータリークラブが食品などを無償提供する市民団体“フードバンクしばた”の活動に参加したのは、フードバンクしばた事務局の土田雅穂さんに活動趣旨の説明に来ていただいた際、当クラブの多くの会員が非常に感銘を受けたのがきっかけです。我々が生活をしているこの新発田市で、食事に困っておられる家庭が大変多くいらっしゃるという現実を知り、当クラブまたは個人として何かさせていただくことはできないか、検討いたしました。

そして当クラブとしてはこれまで、子ども食堂に対して12月にはクリスマスケーキ、2月には恵方巻など、その時期に合わせた食品の支援をさせていただいてきました。

しかし今回のCOVID-19の影響により、学校が長期間休校になり食事をとることが出来ない子供たちがでてきていること。また外出自粛により、子ども食堂を開けなくなっている事から「いま私達に何かできること」を当クラブで協議してきました。

そこで外出自粛当初はお弁当の支援、その後は缶詰やレトルト食品、インスタント食品などを支援させていただいてきました。

それでもなお終息の目処がたたず、先の見えない状況下の中、より長い期間支援をさせていただくために、新発田市内のロータリークラブ（新発田城南ロータリークラブ、新発田中央ロータリークラブ）へ相談いたしました。そして両クラブともその趣旨に快く賛同していただき、今回初めて3ロータリークラブ共同で支援することができました。新発田城南ロータリークラブは活動資金、新発田中央ロータリークラブは加工食品、そして当クラブはお米をお渡しする事が出来ました。

食べるものが少なければきっと、親御さんはせめて子供達だけにはと思われと思います。しかしそれを見て感じている子供さんたちは辛いと思います。少しでもその心配が無くなり、少しでもお腹を満たしていただけたらきっとこれから先のことを考えることができ、少しでも笑顔になっていただけるのではないかと思います。

最後に、これからもより身近なロータリークラブとしてこの活動に取り組んでまいります。そしてこの活動をより多くのロータリークラブの皆さんに知っていただき、ロータリークラブの社会奉仕活動の一つとして支援させていただく事が出来れば幸いです。







## ジオパーク「縄文の森」春季草刈作業報告 実施日：2020年5月21日（木）8時50分～11時20分

2019-20年度  
クラブ奉仕委員会  
藤巻賢策（糸魚川RC）

COVID-19感染拡大防止のため、国・県・市からステイホームが要請されている。3密となってしまう会議、会合、イベント、懇親会など中止や自粛の指導を受けている。

RCにあっては大事な例会が3月より中止となっており、会員の皆さんと一同にお会いして顔を合わせる機会が無く寂しい限りである。

糸魚川RCでは17年間継続事業として「長者ヶ原遺跡・縄文の森」植樹・補植・草刈ケアに春・秋期2度取り組む中、COVID-19問題があるが“ウイルスも刈り取ってしまえ”の呼号で参加者26名の皆さん元気良く、草刈り作業に今期もアタックしました。

予定された作業も無事終わり、会員の皆さんから口々に「COVID-19に負けるな」を合言葉に秋期（10月22日）も頑張ろうと！







## フェイスシールド・マスク贈呈式

2019-20年度  
地区幹事  
本山秀樹（高田RC）

2020年5月19日新潟県医師会館において新潟県医師会様にフェイスシールドとマスクの贈呈式を行いました。昨年末、中国武漢で発生したCOVID-19の感染症は、またたく間に全世界に蔓延し多くの感染者と死者を出す事態となり、日本でも4月17日に新型コロナウイルス感染拡大の防止の為、緊急事態宣言の対象が全国に拡大され不要不急の外出、企業活動の自粛が求められ、ロータリー活動にも大きな影響が出ています。新潟県では緊急事態宣言が解除されたとは言え、日夜、必死に治療に専念されている医療関係者に対しロータリークラブとして何か対応できる奉仕活動はない物かと様々な情報を集めていたところ、第2760地区（愛知県）で、医療従事者が使用する「フェイスシールド」を作成し寄贈する事業を初めたと聞き、当地区でも医療関係者に問い合わせを行いました。その結果、新潟県内でも医療防護具、特にマスク、フェイスシールドの不足は緊急を要するとの要望をお聞きし、この事業を展開することとしました。

贈呈式には、第2560地区から大谷ガバナー、佐藤エレクト、高尾ノミニー、新保R財団委員長、小野寺ガバナー補佐、千田ガバナー補佐、橋詰筆頭副幹事と私の8名が出席し、新潟県医師会様からは渡部会長様、塚田理事様のご出席を頂きました。大谷ガバナーから渡部会長様に「フェイスシールド」24,960セット、「マスク」26,000枚の目録を贈呈し、渡部会長様から第2560地区に対し感謝状が授与され、記念写真を撮影し贈呈式を終了しました。この贈呈した医療防護具は、県内各医師会に届けられます。

また、贈呈式にはBSN、NST、新潟日報から取材をいただき後日各メディアで紹介され公共イメージの向上にも役立ちました。

最後になりましたが、この間、各ロータリークラブから多くのマスクを提供していただきましたことと、新潟県医師会との取り纏めをお願いした千田ガバナー補佐、マスクの情報を頂いた三本ガバナー補佐はじめ関係者各位に感謝申し上げます。



## 感謝状

国際ロータリー第2560地区  
2019-2020年度ガバナー 大谷 光夫 様

あなたはこのたびの新型コロナウイルス感染症の感染拡大を憂慮され医療資材を寄贈されました  
よってそのご厚志に対し心より感謝の意を表します

令和2年5月19日

新潟県医師会長 渡部 透



## 新会員(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
直江津	西村 由明	2020.4.1	東北電力(株)上越火力発電所建設所	所長	電気業
糸魚川	吉内 弘嵩	2020.5.1	日本生命(相)糸魚川営業部	営業部長	生命保険
新発田	田代 賢一	2020.5.11	東北電力ネットワーク(株) 新発田電力センター	所長	電気事業

## 訃報

RC	氏名	逝去日	会社名	役職	職業分類
吉田	富所 法雄	2020.5.1	(株)富所保険企画	代表取締役	損保保険代理店

心よりご冥福をお祈り致します。

第2560地区 2019-20年度4月末 会員数およびMy Rotaryアカウント登録率

R C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2019年 7月1日	4月末 会員数	うち女性	増減
第1分區(9クラブ)	／	-	381	394	39	13
新発田	1	22.1%	91	95	0	4
村上	2	17.5%	36	40	10	4
水原	2	20.0%	30	30	1	0
中条	1	93.0%	39	43	4	4
新発田城南	5	14.6%	47	48	4	1
豊栄	1	17.4%	23	23	3	0
新発田中央	1	4.2%	50	48	5	-2
中条胎内	0	55.6%	37	36	6	-1
村上岩船	2	22.6%	28	31	6	3
第2分區(9クラブ)	／	-	424	438	28	14
新潟	0	20.5%	84	88	2	4
新潟東	4	17.5%	54	57	9	3
新潟南	4	34.0%	103	102	3	-1
佐渡	3	100.0%	6	6	0	0
新潟西	4	52.5%	37	40	2	3
佐渡南	0	9.8%	41	41	5	0
新潟北	0	27.5%	38	40	0	2
新潟中央	0	47.6%	22	21	0	-1
新潟万代	4	51.2%	39	43	7	4
第3分區(6クラブ)	／	-	109	107	4	-2
新津	0	11.1%	19	18	0	-1
村松	2	72.7%	10	11	0	1
五泉	1	0.0%	12	12	1	0
白根	0	29.4%	31	34	1	3
新津中央	0	29.6%	28	26	2	-2
阿賀野川ライン	0	0.0%	9	6	0	-3
第4分區(11クラブ)	／	-	370	383	29	13
三条	0	10.2%	56	59	0	3
燕	0	5.1%	33	39	3	6
加茂	3	10.0%	28	30	5	2
三条南	2	10.6%	48	47	3	-1
分水	0	80.6%	28	31	4	3
見附	0	8.7%	20	23	1	3
吉田	0	6.7%	31	30	4	-1
三条北	1	0.0%	60	61	3	1
巻	0	0.0%	25	23	1	-2
田上あじさい	3	14.3%	7	7	1	0
三条東	3	6.1%	34	33	4	-1

R C	例 会 数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2019年 7月1日	4月末 会員数	うち女性	増減
第5分區(7クラブ)	／	-	305	320	26	15
長岡	4	90.4%	46	52	4	6
柏崎	0	2.3%	41	44	0	3
長岡東	0	23.3%	58	60	3	2
柏崎東	0	18.4%	48	49	4	1
栃尾	2	12.5%	22	24	0	2
長岡西	0	18.2%	54	55	5	1
柏崎中央	1	25.0%	36	36	10	0
第6分區(6クラブ)	／	-	141	140	11	-1
十日町	1	19.4%	28	31	3	3
小千谷	0	9.4%	32	32	2	0
雪国魚沼	1	4.2%	26	25	3	-1
十日町北	2	4.3%	23	23	2	0
津南	0	16.0%	26	23	1	-3
越後魚沼	2	16.7%	6	6	0	0
第7分區(8クラブ)	／	-	322	346	25	24
高田	1	31.2%	59	77	5	18
直江津	1	31.9%	64	72	7	8
新井	0	0.0%	33	32	1	-1
糸魚川	0	95.1%	42	41	2	-1
高田東	1	69.4%	36	36	2	0
糸魚川中央	1	51.4%	35	35	0	0
頸北	2	23.1%	13	13	2	0
越後春日山	0	100.0%	40	40	6	0

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,052	人
4月末 会員数	2,128	人
女性会員数	162	人
純増減会員数	76	人
My Rotaryアカウント登録率	28.5	%

【地区予定表 6月】

- ロータリー親睦活動月間 -			
6月	9 (火)	新潟RC 創立80周年記念式典 中止	ホテルイタリア軒
	20 (土)	長期交換学生オリエンテーション・壮行会・お別れ会 中止	ホテルハイマート
	21 (日)	ロータリー財団 学友会総会 中止	
	27 (土)	ローターアクト地区大会 開催方法変更	<del>アートホテル新潟駅前</del>
	28 (日)	大谷年度感謝の集い	
		ローターアクト地区協議会	



## ロータリーのリーダーシップと最新の経営理論

ロータリーの「中核的価値観」の1つに「リーダーシップ」が「戦略計画」と共に掲げられて久しい。しかし、その意味について共通の理解があるのであろうか。人によって「リーダー」や「リーダーシップ」についてのイメージや意味するところが違うのは当然として、時代の変遷によってそのありように変化があり、新たに求められるものがあってもおかしくない。一昔前は「カリスマ的リーダー」が典型的なリーダー像であったように思う。「秀でた特殊な能力や専門的知識などの個人的魅力」で影響力を発揮するタイプである。その場合は大抵「リーダー→フォロワー(部下)」という垂直的な縦の関係がある。ところで、ロータリーにおいてその垂直的なリーダーシップのみで良いのであろうか。

時にそのようなリーダーシップも必要であろうが、優れた経営者や専門職が集うロータリーにおいて様々な役割や場面に応じて、一人ひとりがやはりリーダーなのである。近年、リーダーシップについて、経営学で主流となってきた理論に「シェアード・リーダーシップ」(SL)という考え方がある。「グループの複数の人間、時には全員がリーダーシップを執る」とする考え方だ。水平関係のリーダーシップということができる。これからの不確実性の時代のリーダーシップ論としてこの理論が注目されているようだ。

ロータリーにおいて、1人ひとりがリーダーであるならば、当然1人ひとりに「ビジョン(軸)」が求められる。地区やクラブのビジョンもさることながら「自分のビジョンは何か」、「自分は何者で、何をしたいのか」がすべてのロータリアンに求められる。何故なら、どのような団体であっても個人の集合体に他ならないからだ。近年の実証研究では、「従来型の垂直的リーダーシップよりも、SLの方がチーム成果を高める」とい結果が多く示されている。SLにおいて重要なのは十分な「対話(ダイアログ)」である。対話によって個々人の「知」が活かされる。「新しい知は既知の知と既知の知の新しい組み合わせ」から生まれる。

近年の経営理論におけるリーダーシップの定義は「グループ内のある人が他のメンバーのモチベーション・能力を修正する時、それをリーダーシップという」である。「修正する時」とは、あくまで心理的に「他者に変化をもたらす」ことを指す。この場合リーダーとは「変化」を与える人、すなわち他者に「影響力」を与えることを指す。

「私たちは世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」。ロータリーの新しい「ビジョン声明」である。いま正に私たちは「持続可能な良い変化をもたらす」ために個人としての「ビジョン(軸)」をしっかりと持ち、「リーダーシップ」を発揮しなければならない。

### 第2地域ロータリー公共イメージコーディネーター 柳生 好春(野々市RC)

※ 早稲田大学大学院教授 入山章栄著「世界標準の経営理論」に大きく依った。

## COVID-19による「緊急事態宣言」のなかで思うこと

ロータリー年度末を迎えるにあたり、ロータリーを前進させるための各地でのご尽力に、心より感謝申し上げます。新型コロナウイルスが蔓延するなか、ロータリークラブの活動や事業活動に懸命に取り組んでおられる皆様に心からのお見舞いと敬意を表します。前途多難な社会状況ですが、閉塞感打破に向け、共に頑張りたいと思います。

新型コロナウイルスはいつ、誰が感染してもおかしくない中で、自らが罹らないこと、そして不運にも感染した時は、他の人達にうつさないようにすることが、ロータリアンとしての社会的責任でしょう。

政府の緊急事態宣言により、外出を極力控えるように強く要請され、在宅ストレスがたまっていると思います。ストレスの発散方法や免疫力アップに効果がある食材等の情報が数多く発信されていますので、参考にして遊び心を忘れずに「離れて繋がる」ことを心がけましょう。

3月以降、ロータリーはクラブ・地区ともに例会・行事・セミナーや奉仕活動などを中止・延期されたと思います。一方でこの間に、ビデオ・インターネット・WEB等を使用した、これまでと違った方法で開催された活動も多くあるのではないのでしょうか。ご苦労はあったでしょうが、今後のクラブや地区の運営に活かされることでしょう。

日本は災害列島と言われ、毎年のように自然災害が発生します。その上に今回のパンデミックが起きました。ウィルス性感染症は20世紀に8回(1918年のスペイン風邪では、世界中で多くの死者が出ました。)、21世紀に入りすでに3回も発生し、努力と知恵によって克服してきています。

各種ある危機の中で、最も死者が多いのがウィルス性感染症です。人は平常に戻ると、すぐに忘れるものです。目の前の敵と闘いながら、風化しないうちにこの経験を活かし「次に備える」ことが重要です。

ウィルス性感染症は不幸なことにこれからも必ず発生するでしょう。今回の新型コロナウイルスも、必ず克服し、「次への備え」によって、社会の発展に繋がることと、確信しています。人が集まって行う奉仕活動がほとんど不可能な中でも、ロータリアンとロータリークラブができることは多くあります。草の根的な活動ですが、コロナと闘っておられる人達にエールをおくったり、困っている人達に支援の手を差し伸べたりすることはできるでしょう。

インターネットやWEB等を使った動画の発信によって、人々を「ワクワクドキドキ」させ、感動と希望を与えることができます。また、自らとロータリーファミリーが実施している素晴らしい奉仕活動を、家族・友人・知人に話すことやクラブや地区のホームページとMy ROTARYに投稿することができます。

周囲の人達にロータリーの奉仕活動を示し、語ることによって、ロータリーファミリーの絆を深め、公共イメージ向上にも繋がることとなります。

「ひとりひとりが広報マン」を心がけましょう。

### 第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 片山 勉(大阪東RC)





## 戦略計画についてのアンケート結果

第3地域におきましては2019年に引き続き、現ガバナーエレクト(‘20～’21年度DG)にお願いし“戦略計画についてのアンケート”を行いました。今年は第1地域、第2地域でもほぼ同様のアンケートを行いました。新型コロナウイルス感染拡大によりロータリー各種会合が延期、或いは中止となり、皆様方にアンケート結果をご報告する機会がございませんが、近い将来人間の英知、ロータリアンの結束力でコロナ禍を克服した暁には、日本の34地区・全国のクラブの“戦略計画に対する取り組みの現状”を皆様方にお示しできるものと思います。

2019年では11地区中1地区に地区戦略計画委員会(地区ビジョン委員会)の設立がありませんでしたが、2020年では全ての地区に設立されていました。しかし、3地区では未活動との返答を戴きました。地区ビジョン、或いは地区中期目標を策定している地区は7/11(2019年5/11)、検討中は3/11(2019年2/11)、未決定は1/11(2019年3/11)と多くの地区でそのビジョンを掲げ活動をされています。地区ビジョンの必要性が浸透してきている結果であると推察できます。

クラブ戦略計画(ビジョン)委員会設置については、最も多い地区は82.5%、次いで78.1%、73.8%、69.3%、50%、39.4%、25.4%、16%の順でした。残る3地区は設置をしているクラブもあるが実態を把握していない、との回答でした。昨年未確認の地区が2地区ありましたが、今回は3地区となっています。先にパーセンテージを示した8地区は全ての地区でクラブ内での委員会設置数が増えています。

地区内各クラブはクラブのビジョン、或いは中長期目標を決めているか?との問いについては、それぞれの地区内クラブで85%、47%、40%、37%、36%、31%、7%、3%の割でクラブの進むべき方向を決め、活動をされています。各クラブでのご努力に感謝を申し上げます。この項では、昨年より方針を策定しているクラブが減っている地区が見受けられます。

ロータリーの単年度制から脱却し、持続性を持ったクラブ運営を行うために、是非クラブ内で再討議をして戴きたく存じます。なお、3地区が未確認との回答でした。

国際ロータリーが地区・クラブの活性化のために、2002年にDLP(地区リーダーシッププラン)を、2004年にはCLP(クラブリーダーシッププラン)を推奨致しました。その後、2007年にStrategic Plan(長期計画)、2010年にはStrategic Plan(戦略計画)を打ち出し地区・クラブの活性化・会員増強を持続的に推進するように働きかけました。また、ロータリークラブの特性である単年度制を考慮しつつ、持続性のある即ち数年後を見据えた地区・クラブの目標・ビジョン・活動計画を考えることを推奨しました。

今回の結果から、地区、そして多くのクラブにおいて、それぞれのビジョン或いは戦略計画を立案し、実践することの必要性・重要性を認識されつつある、と考えられます。

地区・クラブ戦略計画(ビジョン)委員会を有用に活用され、地区・クラブの活性化・会員基盤向上・会員増強にご努力されることをお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染もやや衰えを見せつつありますが、第2波・第3波の襲来が必至と思われます。油断をせず感染予防に万全の措置を執りながらロータリー活動を続けられますことを祈念申し上げます。

**第3地域ロータリーコーディネーター 高島 凱夫(大阪中之島RC)**





## 1. 第4代よねやま親善大使が決定！

「第4代よねやま親善大使」には26人の学友から応募があり、広報委員会、常務理事会にて厳正なる選考の結果、下記3人の方に決定しました。任期は2020年7月から2年間で、日本全国でロータリー米山記念奨学事業をPRします。地区行事でのスピーカーとしてぜひお声掛けください。親善大使に関するご連絡は当会事務局広報担当まで。



**カレン・ジュリア・ウォーター**

(オーストラリア/1992-94/京都南RC)  
(株)Global Waters 代表取締役社長、Burleigh Heads RC(第9640地区)会員。自らの事業では、日本の子どもたちへの国際理解教育と奉仕の心を育てることに尽力。2019年度より第2650地区米山学友会会長。



**アドゥアヨム・アヘゴ, アクエテビ**

(トーゴ/2014-15/新発田城南RC)  
(株)ドリーム・ジーピー 研究員。アフリカで不足する義肢装具の開発研究に尽力。日本の義肢中古部品を活用した義肢をアフリカに提供する活動も。自ら手がけた義肢で東京パラリンピックにトーゴの選手を出場させる夢が進行中。

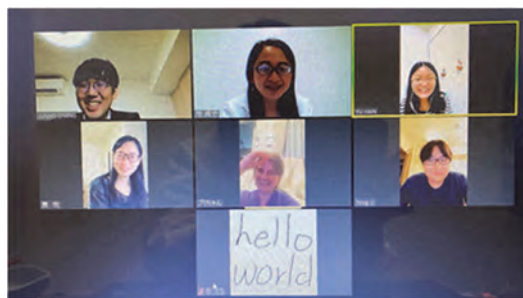


**李 昱昊 (リ イッコウ)**

(中国/2016-17/東京銀座RC)  
法律事務所にて国際法務に従事し、海外に進出する日本企業をサポートする一方、日中交流団体代表として両国の若者の交流促進に尽力。2018-20年度第2750地区米山学友会副会長、2019-20年度東京西RAC会長。

## 2. オンラインで奨学生と交流！—東京米山友愛RC—

新型コロナウイルスの感染拡大により、今年のゴールデンウィークは“Stay Home”の呼びかけのもと、オンラインでの交流が奨励されました。4月から新しい米山奨学生を迎えた世話



クラブからも、奨学生との交流にオンラインを活用した事例を報告いただきました。

日本在住の米山学友を中心に設立され、今年創立10周年を迎えた東京米山友愛RC(第2750地区)では、5月3日に新規米山奨学生の張準好さんを迎え、オンライン会議ツールZoomを使って、クラブで奨学生へのオリエン

テーションを実施。当日は、張さんのカウンセラーで米山学友の朴貞子さん、クラブ支援奨学生の賈悦さんとカウンセラーのブリッタ・ズルツさん、同クラブでお世話した学友の韓瑜さんと李桐さんも参

加し、米山記念奨学事業についての説明や自己紹介・近況報告、「オンライン飲み会」で、終始笑いの絶えない時間を満喫しました。朴さんによると、同クラブの4月29日のオンライン例会には、現役奨学生の張さん、賈さんと共に、以前クラブでお世話した米山学友もウズベキスタンから参加してくれたそうです。

### 3. 寄付金速報 — 減少幅広がる —

4月までの寄付金は前年同期と比べて4.0%減（普通寄付金:1.8%減、特別寄付金:5.1%減）、約4,900万円の減少となりました。今後の見通しがなかなかつかないこともあり、先月同期比に比べ、より減少幅が広がりました。厳

しい状況下にも関わらずご寄付をいただいた皆さまへ、厚く御礼申し上げます。これからも新型コロナウイルスとの闘いは続きそうです。引き続き米山記念奨学事業をご支援下さいますようお願い申し上げます。

### 4. 学友によるマスク支援続々

ここ数日、全国的なマスク不足が解消されつつあるという報道を目にするようになりましたが、これまでに多くの米山学友が続々と、母校やロータリークラブへ“恩返しマスク”を寄贈しています。

**神戸大学へ** 大学附属病院などでマスクが不足しているとの声を受け、神戸大学留学生西日本同窓会の会長をつとめる米山学友・陳林さん（中国/2003-05/芦屋RC）ら元中国留学生が4月21日、大学に2万5,000枚のマスクを寄贈。

**慶應義塾大学と世話クラブへ** 中国・上海の元留学生ら22人と、上海三田会・旧友会会員78人からの寄付金などにより、中国でマスク6万枚を調達し、4月中旬に大学へ届けました。その一人である米山学友、肖慧潔さん（2008-09、現在：東京米山ロータリーEクラブ会員）は、奨学生時代の世話クラブ・東京白金RCや、既にクラブを退会したカウンセラーにもマスクを



送付。同クラブでは希望する会員・現米山奨学生・交換留学生（候補）に配布したほか、約1,000枚を地元の医療機関へ寄贈する予定です。林観照会長は「今回、思いがけず昔の米山学友からマスクを寄贈いただき、大変感謝しています。米山奨学事業の絆が形として現れたと

思います。これからも奨学生をきちんとサポートしてまいります」と語っていただきました。

**台湾学友会** 関西米山学友会元会長・何玉翠さんが発起人となったマスクの共同購入に、日本国内の学友個人や学友会、ロータリアンら多くが参加しました。台湾米山学友会も会員からの寄付でこれに出資し、購入したマスク3万枚を北海道名寄市役所へ寄贈するほか、同学友会の郭錦堂理事長が所属する台中文心RCが日本の相模原中RCと豊田中RCへそれぞれ10,000枚を寄贈予定です。

**ロータリアンからも感謝の声** 全国に緊急事態宣言が出された夜、第2640地区元地区米山奨学委員長の京谷知明氏のもとへ米山学友から

「何か出来ることはないか」と打診がありました。マスク不足の現状を伝えたところ、学友有志がマスク2,000枚を苦心しながら調達し、堺フェニックスRCへ寄贈。同クラブはそれを地元の高齢者福祉施設とクリニックへ、フェイスガードとともに寄付しました。京谷氏は「マスクと一緒に温かい気持ちを受け取り、クラブ一同、感謝の気持ちでいっぱい」と、語っていただきました。



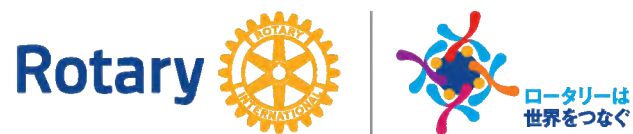
### 在宅勤務期間延長のお知らせ

緊急事態宣言が5月31日まで延長されたことに伴い、現在実施している事務局の在宅勤務を引き続き継続させていただきます。

【実施期間】5月31日(日)まで ※状況によって期間延長の検討をいたします。

【期間中の問い合わせ対応】原則として、メールにて対応をさせていただきます。詳細は当会HPまで。





ROTARY  
INTERNATIONAL  
DISTRICT 2560



国際ロータリー第 2560 地区 2019-20 年度ガバナー事務所

---

〒943-0834 上越市西城町 2-3-9 JCV アネックスビル 1F

TEL:025-512-1435 FAX:025-512-5854

E-MAIL:m.otani@rid2560niigata.jp